

# 川越市観光アンケート調査 報告書

---

平成30年  
【平成30年1月～12月】

川越市産業観光部 観光課

# 目次

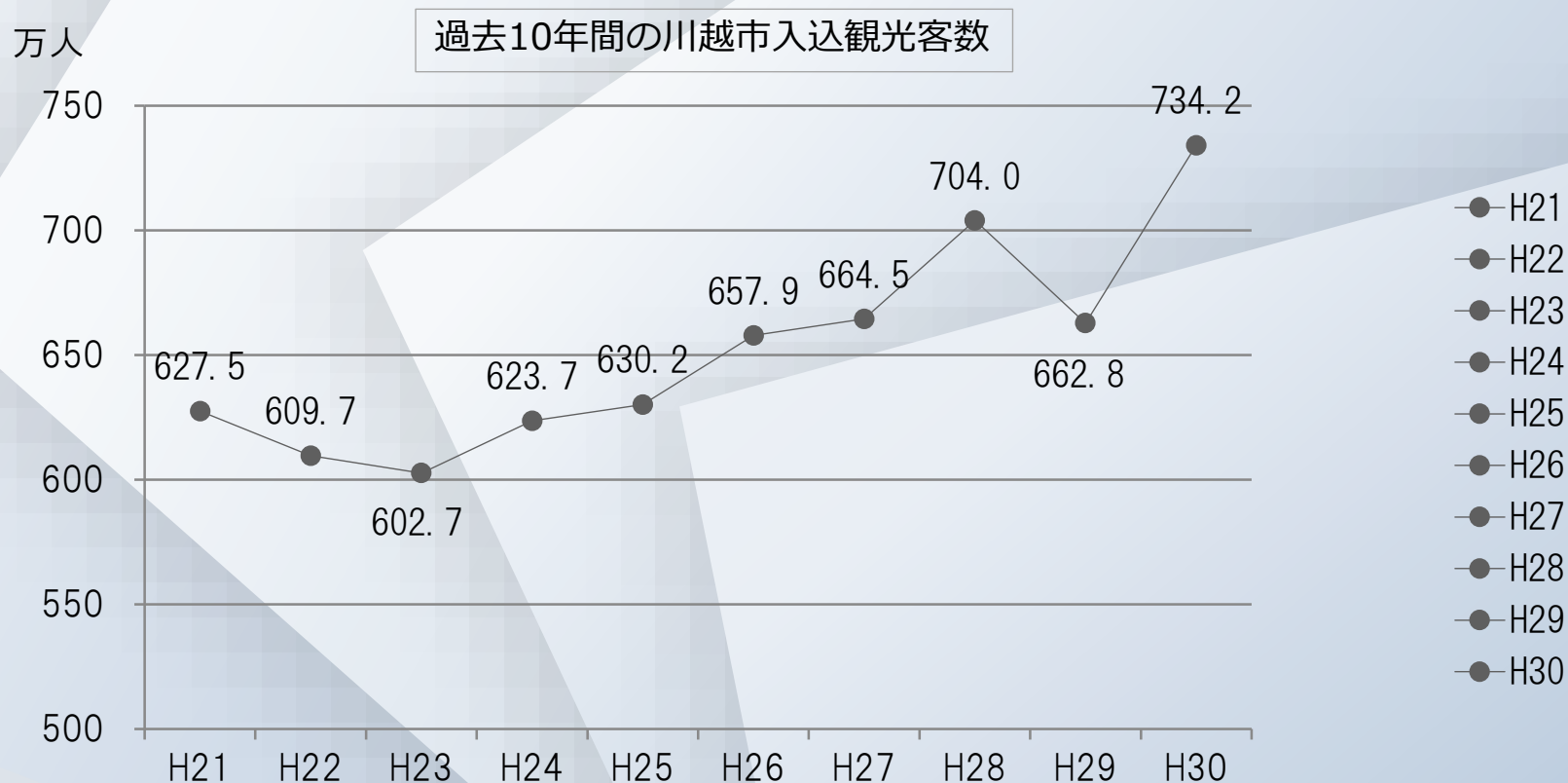
<b>I</b>	<b>平成30年川越市入込観光客数の概要</b>	2
<b>II</b>	<b>観光アンケート調査の統計・分析</b>	
1.	観光アンケート調査の趣旨	4
2.	観光アンケート調査の方法	5
3.	観光アンケート調査の結果	
(1)	出発地	6
(2)	性別	13
(3)	年齢	14
(4)	同行者	15
(5)	交通手段	17
(6)	滞在期間	18
(7)	宿泊観光客	19
(8)	観光時間	20
(9)	訪れた時刻、帰る時刻	22
(10)	来訪回数	23
(11)	認知方法	24
(12)	立ち寄り観光地	26
(13)	平均観光消費額	27
(14)	要望	29
(15)	意見・感想	30
<b>III</b>	<b>観光消費額</b>	32

# I 平成30年川越市入込観光客数の概要

○入込観光客数：**734万2千人**（前年比10.8%増）**過去最高**

○主な要因

- ・一番街周辺（蔵造りの町並み）の観光客の増加
- ・喜多院の初詣客の増加
- ・川越氷川神社縁むすび風鈴の増加
- ・川越まつりが好天のもと開催

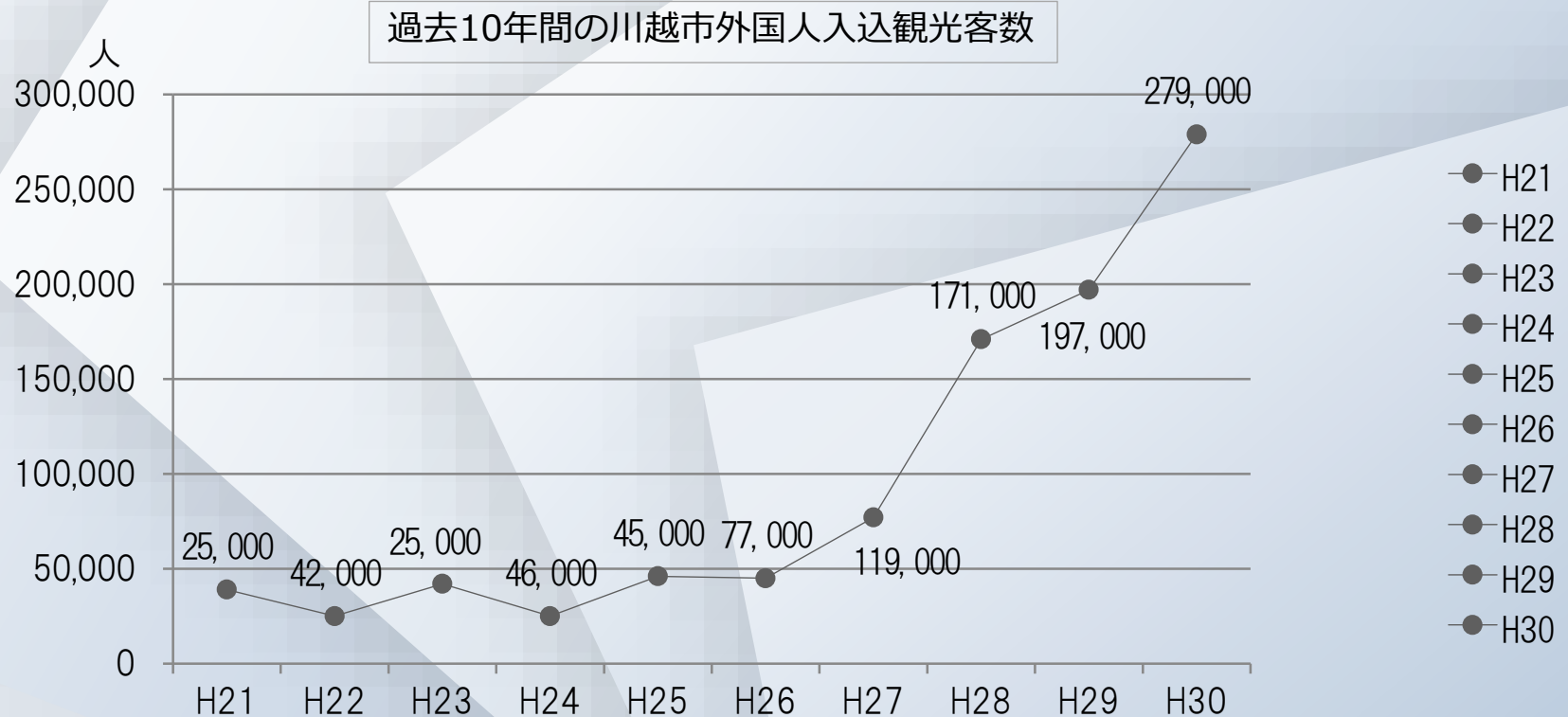


# 平成30年外国人入込観光客数の概要

○外国人：**27万9千人**（前年比41.6%増）**過去最高**

## ○国籍別ランキング

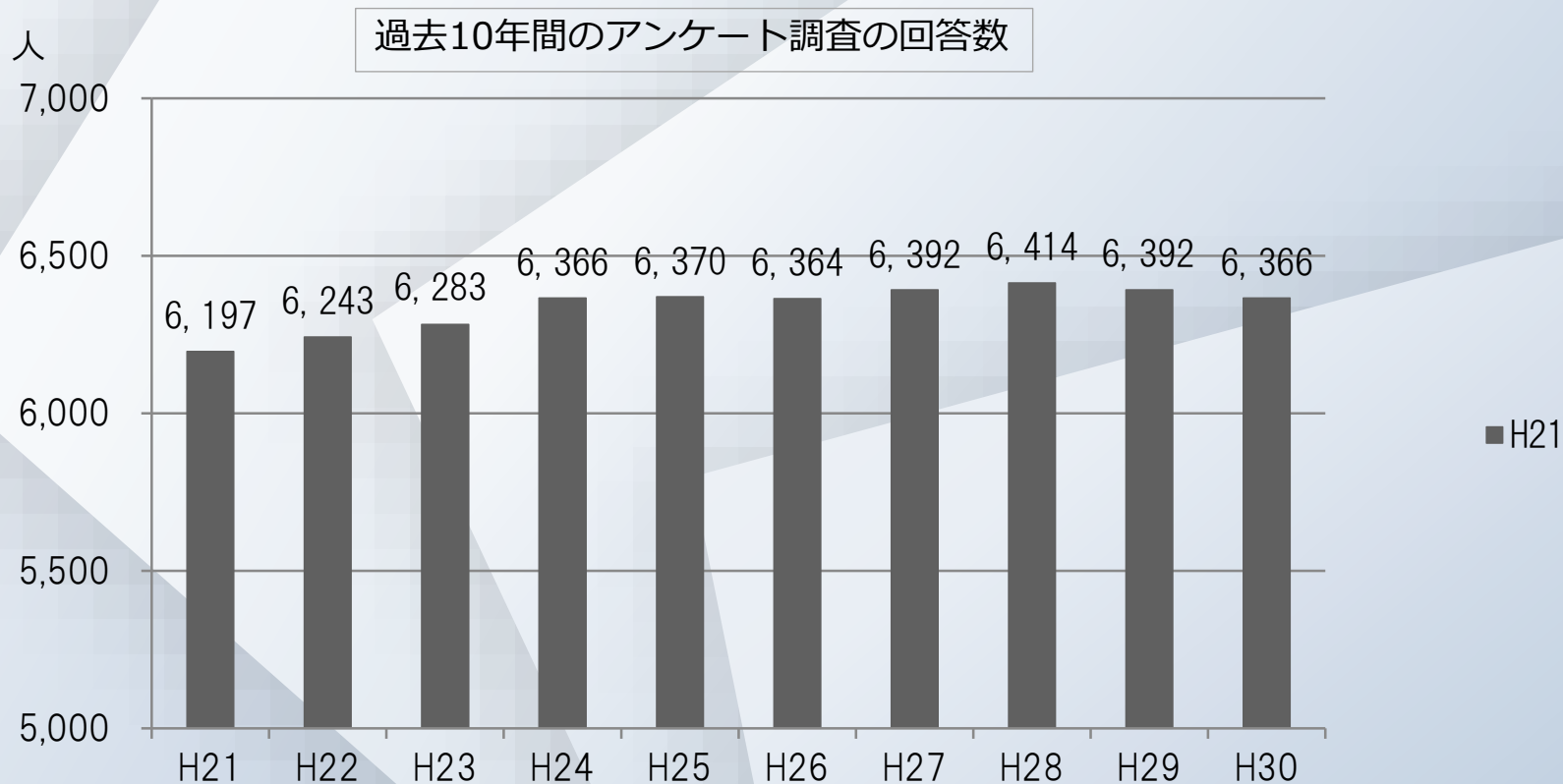
1位	台湾	112,000人	(40.1%)
2位	タイ	43,200人	(15.4%)
3位	香港	27,900人	(10.0%)
4位	中国	17,200人	( 6.1%)
5位	韓国	16,800人	( 6.0%)



## Ⅱ 観光アンケート調査の統計・分析

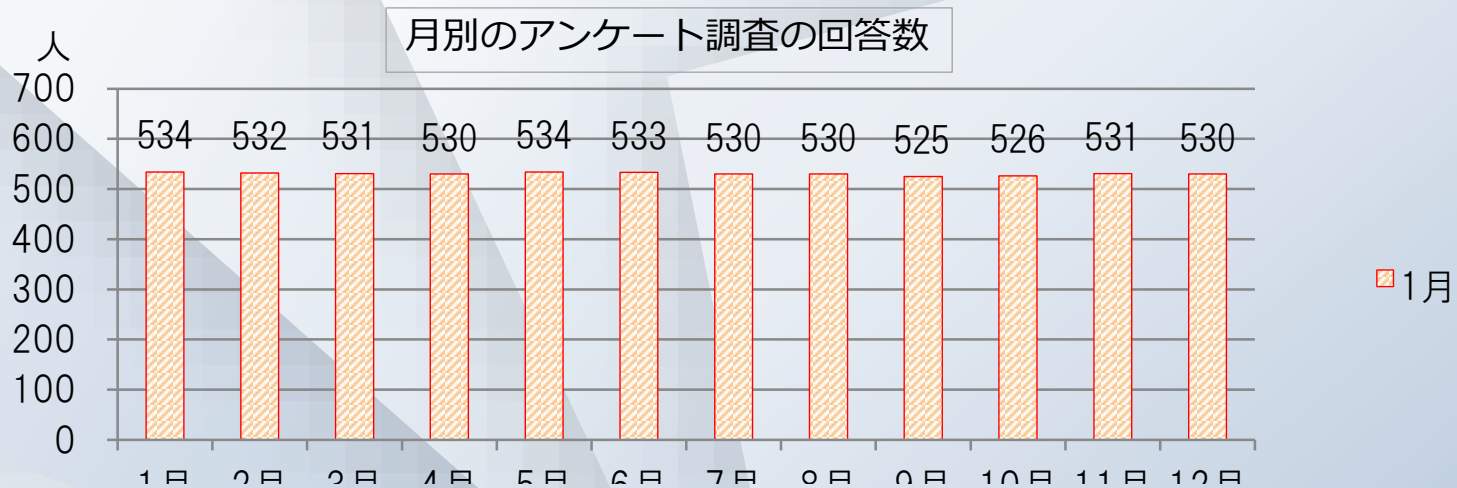
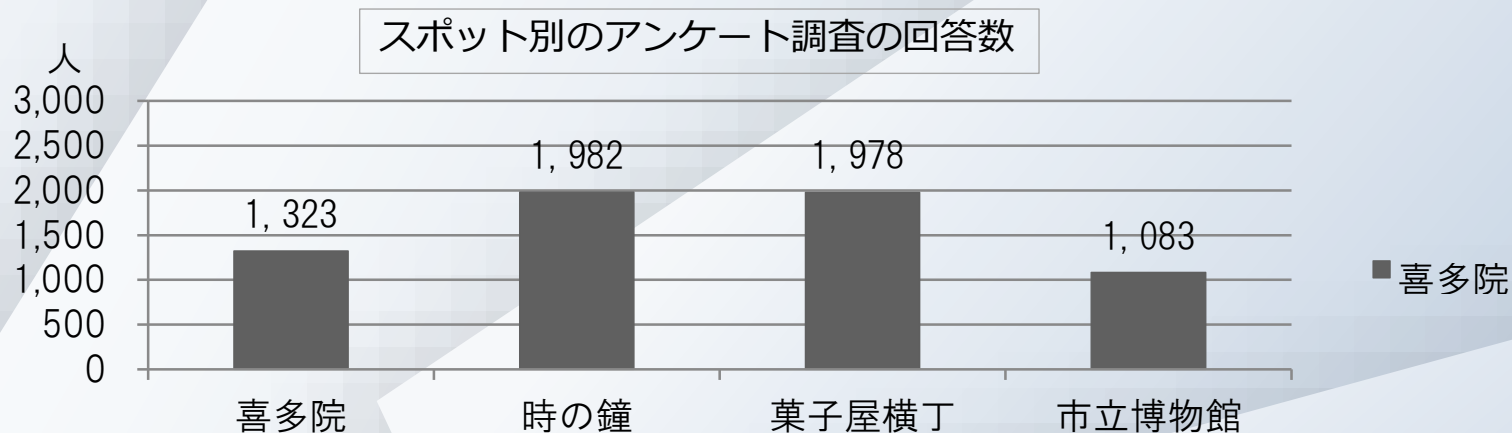
### 1. 観光アンケート調査の趣旨

○観光アンケート調査は、観光客一人ひとりに対する聞き取りによるもので、その結果を基に、観光客の出発地、交通手段、立ち寄り観光地、観光消費額など、観光客の基本的な動態を把握することを目的としている。



## 2. 観光アンケート調査の方法

- 期間：平成30年1月から12月までの1年間
- 地点：喜多院、時の鐘、菓子屋横丁、市立博物館
- 時間：午前11時から午後3時までの4時間

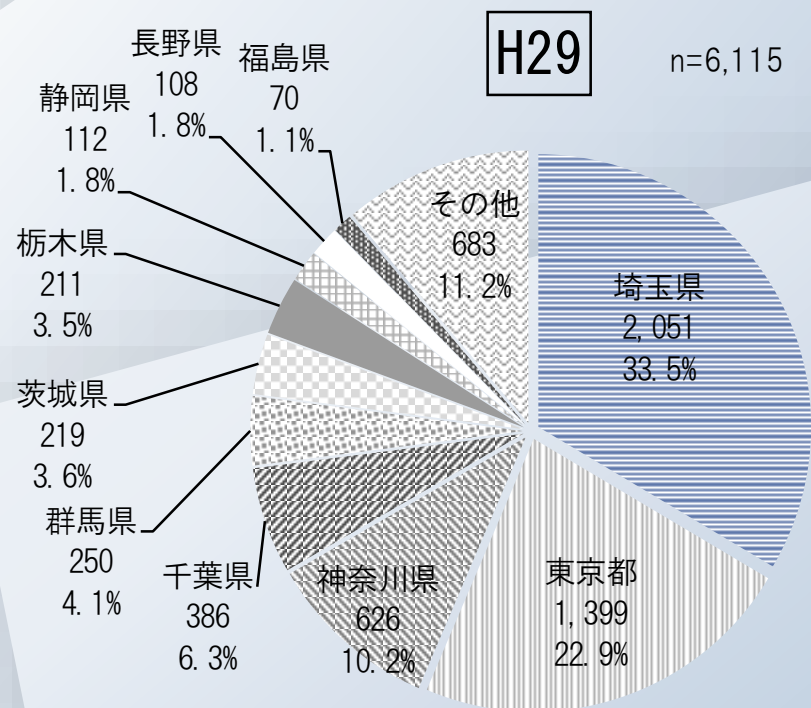
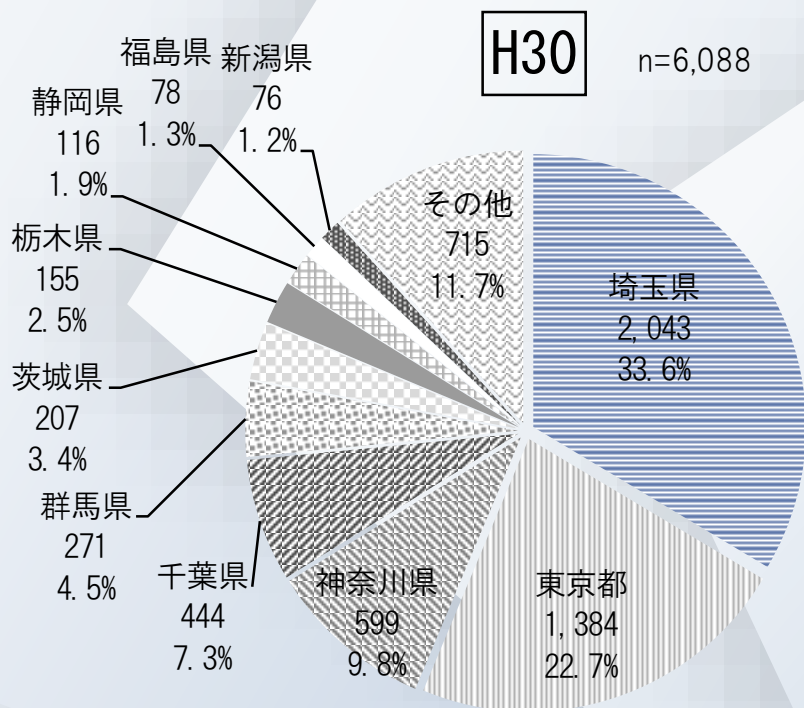


### 3. 観光アンケート調査の結果

#### (1) 出発地

##### ■ 国内【都道府県別】

- 出発地が国内だった観光客数 **6,088人 (95.6%)**
- 1位か8位までは、昨年と順位は変わらなかった。
- 千葉県の数値が上昇（東京外環自動車道延伸等の効果と推定される）



## ■都道府県別出発地

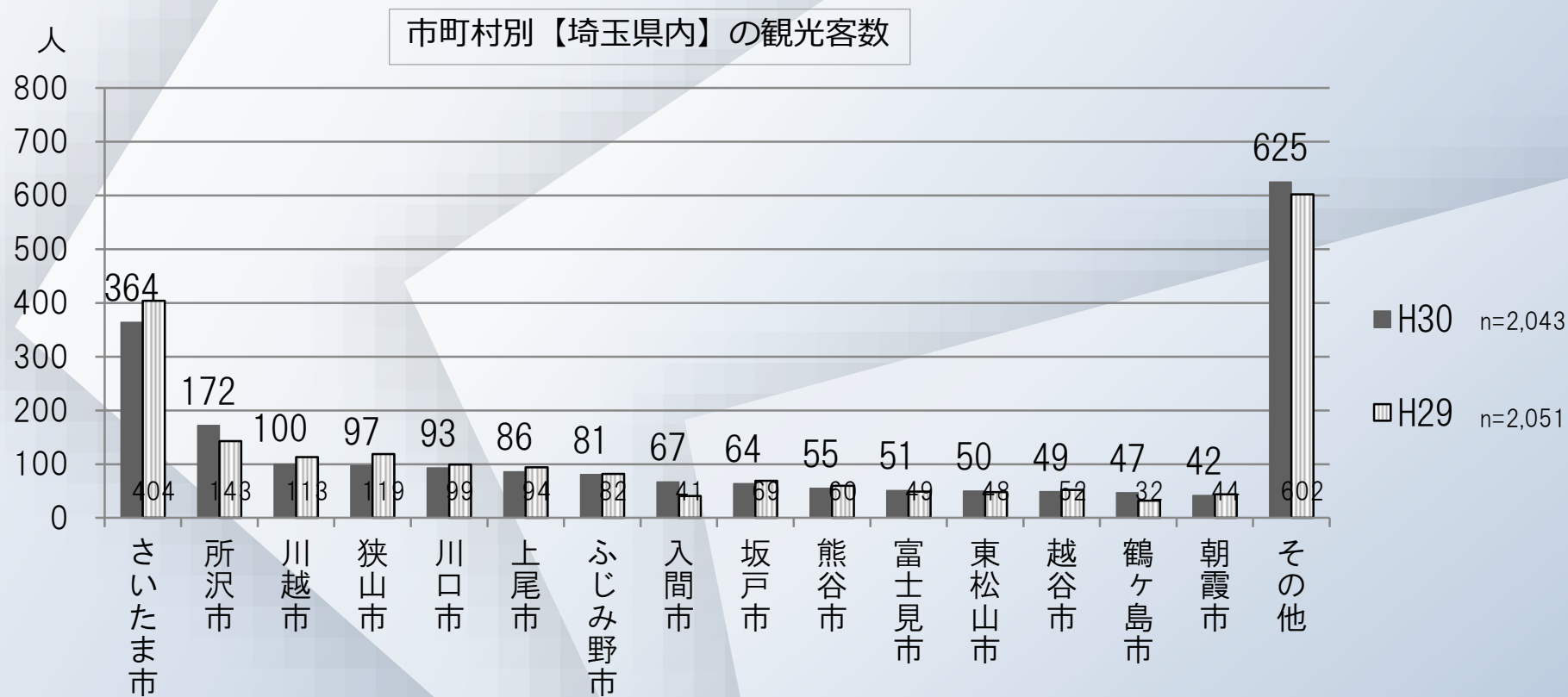
地方	人数	都道府県別（上位順） ※カッコ内は人数
北海道	54人	北海道（54）
東北	231人	福島県（78）、宮城県（56）、山形県（31）、岩手県（27）、青森県（21）、秋田県（18）
関東	5,149人	埼玉県（2,043）、東京都（1,384）、神奈川県（599）、千葉県（444）、群馬県（271）、茨城県（207）、栃木県（155）、山梨県（46）
北陸・信越	175人	新潟県（76）、長野県（66）、富山県（18）、石川県（14）、福井県（1）
東海	195人	静岡県（116）、愛知県（58）、三重県（12）、岐阜県（9）
近畿	137人	大阪府（58）、兵庫県（36）、京都府（16）、奈良県（12）、滋賀県（11）、和歌山県（4）
四国	16人	愛媛県（9）、香川県（5）、高知県（2）、徳島県（0）
中国	50人	広島県（19）、岡山県（13）、山口県（12）、鳥取県（3）、島根県（3）
九州・沖縄	81人	福岡県（31）、沖縄県（12）、長崎県（9）、佐賀県（8）、熊本県（6）、大分県（6）、宮崎県（5）、鹿児島県（4）
（合計）	6,088人	



## ■市町村別【埼玉県内】

○埼玉県内の1位はさいたま市 364人(17.8%)

○所沢市・入間市・鶴ヶ島市の観光客数が増加

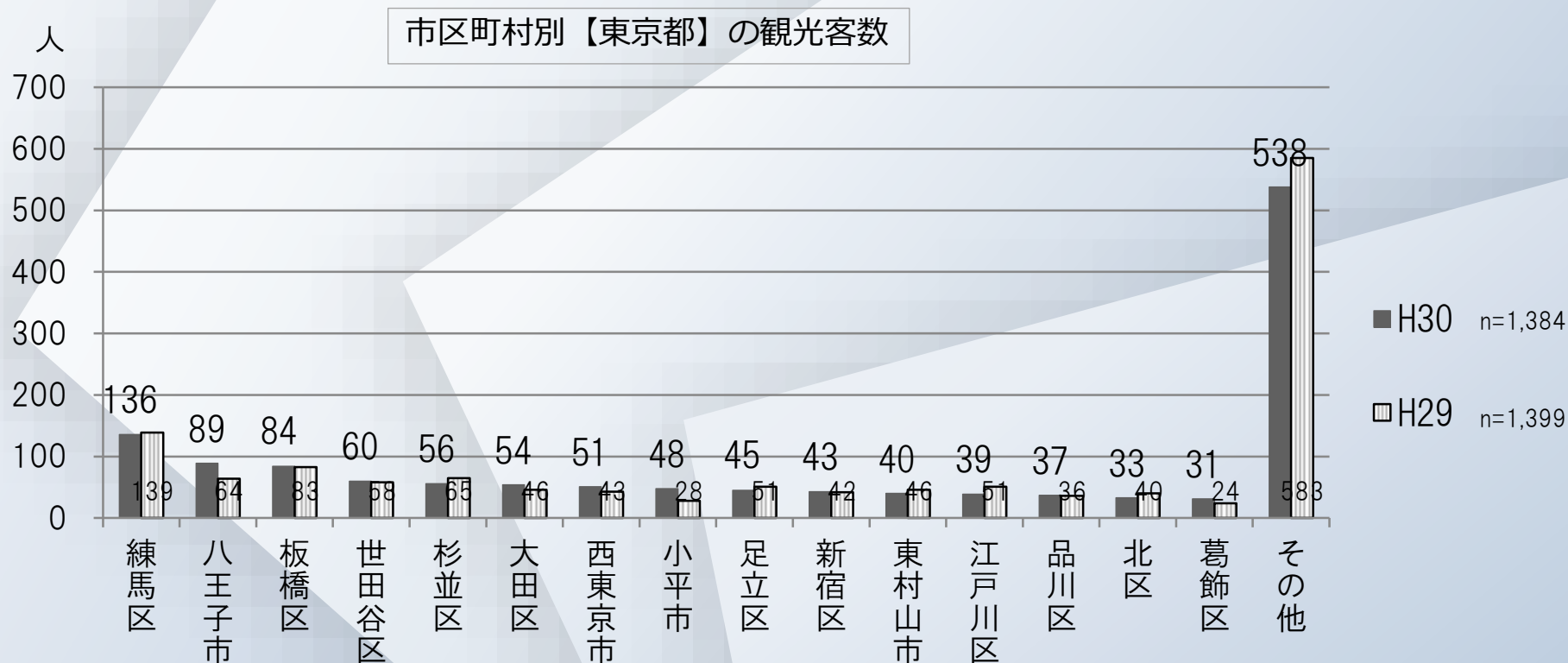


## ■市区町村別【東京都】

○東京都内の1位は練馬区 136人(9.8%)

○八王子市が昨年の4位(64人)から2位に上昇

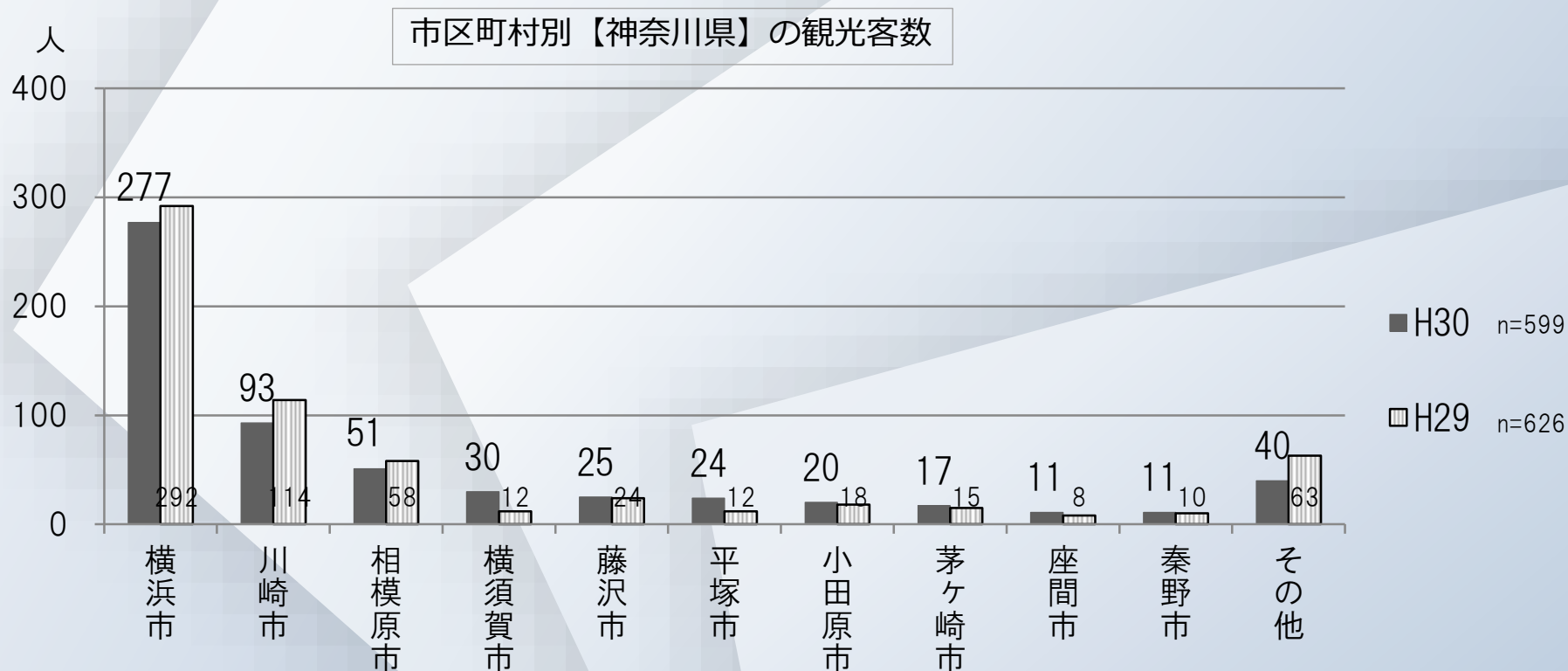
○西東京市・小平市など西武鉄道沿線都市の観光客数が増加



## ■市区町村別【神奈川県】

○神奈川県の1位は横浜市 277人 (46.2%)

○横須賀市が昨年の12人から30人に増加し、4位に上昇。



## ■ 国外

- 国外が出発地の観光客は 276人 (4.3%) (昨年：274人、4.3%)  
※ 外国人の割合は昨年から増減なし

国名	回答者数
台湾	94人
タイ	30人
香港	23人
中国	22人
韓国	21人
アメリカ合衆国	15人
ドイツ	10人
スペイン	8人
オーストラリア	7人
フランス	5人
インドネシア・シンガポール	4人
ニュージーランド・マレーシア・メキシコ	3人
アルゼンチン・イギリス・イタリア・オランダ・ベトナム・ポーランド	2人
アイルランド・イスラエル・ウガンダ・ウズベキスタン・オーストリア カナダ・グアム・スイス・スウェーデン・チリ・ブラジル・ウルグアイ	1人
合計	276人

観光案内所 外国人観光客利用者数（平成30年1月～12月）

【観光案内所利用者数国籍別ランキング】

- 川越駅観光案内所
- 本川越駅観光案内所
- 仲町観光案内所

順位	国名	H30 利用者数	H29 利用者数
1位	台湾	<b>19,636人</b>	19,366人（1位）
2位	タイ	<b>7,576人</b>	5,503人（2位）
3位	香港	<b>4,884人</b>	4,883人（3位）
4位	中国	<b>3,013人</b>	3,343人（4位）
5位	韓国	<b>2,940人</b>	2,664人（5位）
6位	アメリカ合衆国	<b>1,884人</b>	2,368人（6位）
7位	シンガポール	<b>1,248人</b>	1,373人（7位）
8位	マレーシア	<b>885人</b>	920人（8位）
9位	インドネシア	<b>628人</b>	535人（9位）
10位	オーストラリア	<b>609人</b>	483人（12位）

○総利用者数

平成29年：46,264人  
平成30年：48,918人

○大幅に増加した国

- ・タイ（前年比 37.6%増）
- ・オーストラリア（前年比 26.0%増）
- ・インドネシア（前年比 17.3%増）

## (2) 性別

○女性：3,858人 (60.6%)

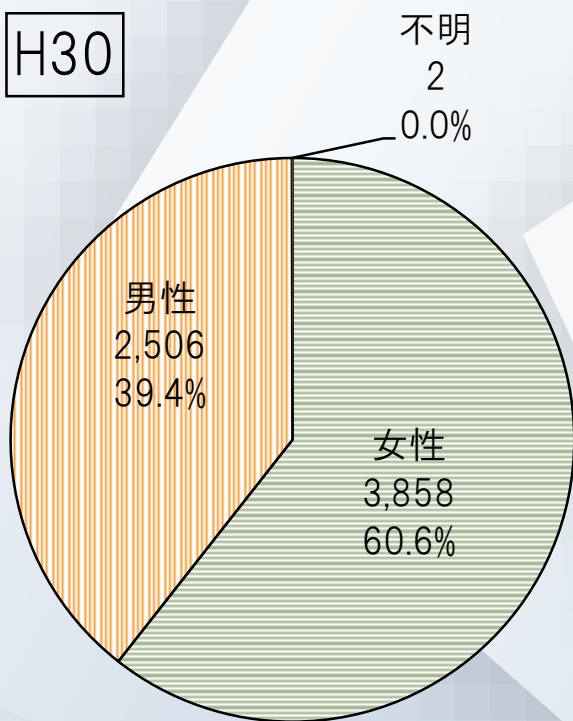
○男性：2,506人 (39.4%)

○【参考】平成29年

女性：3,923人 (61.4%)

男性：2,468人 (38.6%)

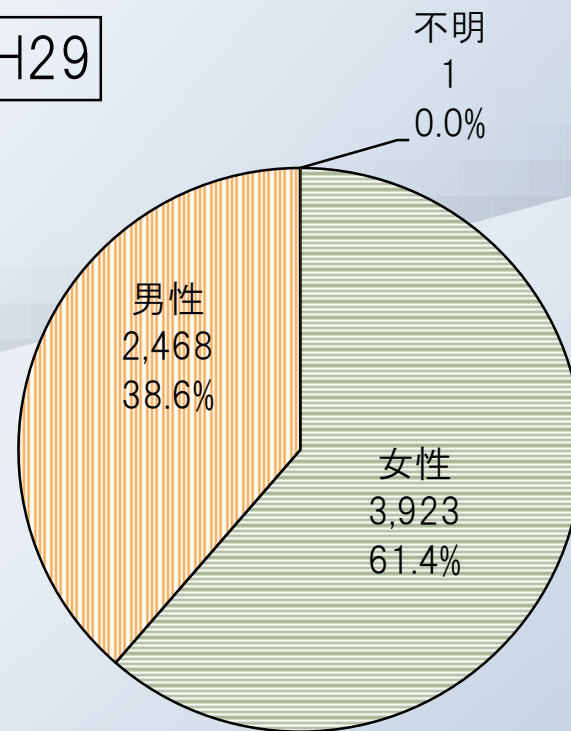
H30



n=6,366

□ 女性  
■ 男性  
■ 不明

H29



n=6,392

□ 女性  
■ 男性  
■ 不明

### (3) 年齢

#### ○年代別割合の推移

- ・ 10歳代 3.5%→4.6%
- ・ 20歳代 12.2%→12.4%
- ・ 30歳代 13.3%→13.2%
- ・ 40歳代 16.8%→16.0%
- ・ 50歳代 19.8%→19.4%
- ・ 60歳以上 34.3%→34.3%
- ・ 不明 0.1%→0.1%

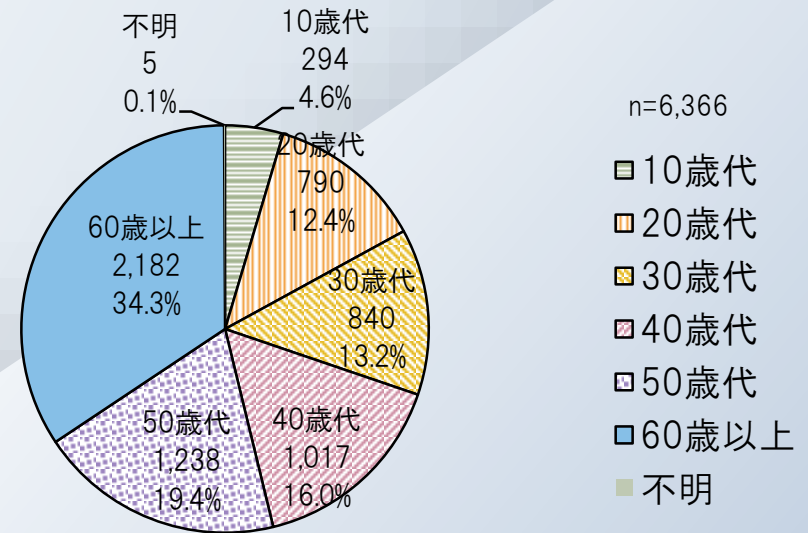
#### ○10歳代が上昇（225人→294人）

川越氷川神社の縁むすび風鈴や  
きもの体験、インスタグラムなどSNS  
の情報発信が話題となり、若年層の  
割合が増加していると思われる。

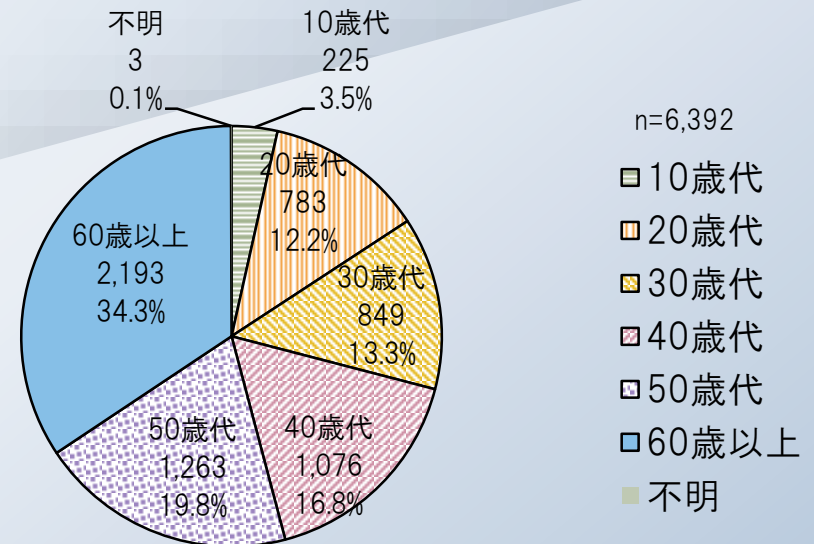
#### ○10～20歳代の割合

15.7%→17.0%に上昇  
(1,008人→1,084人)

H30



H29



#### (4) 同行者

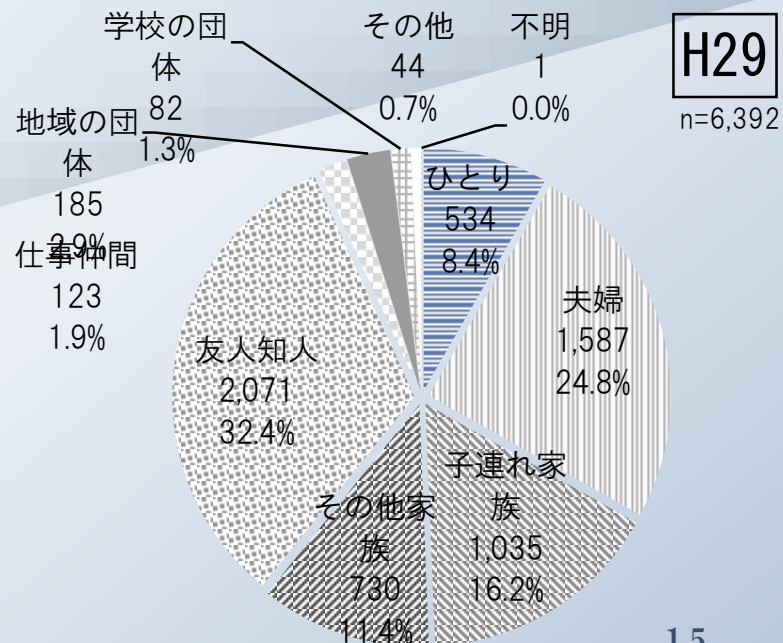
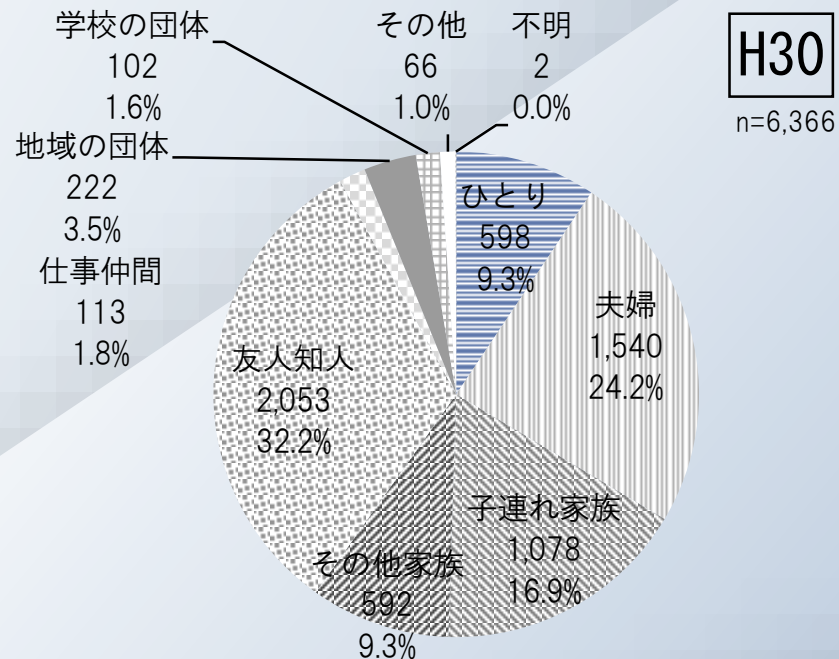
##### ○同行者の割合

- ・ 1位：友人知人（32.4%→32.2%）
- ・ 2位：夫婦（24.8%→24.2%）
- ・ 3位：子連れ家族（16.2%→16.9%）
- ・ 4位：その他家族（11.4%→9.3%）
- ・ 5位：ひとり（8.4%→9.3%）

##### ○ひとりの割合が上昇 （534人→598人）

近年、単独で宿泊できる施設が増えてきたことに加え、一人で過ごす開放感や自由に気楽に楽しむ旅行など、旅行スタイルが多様化してきている。

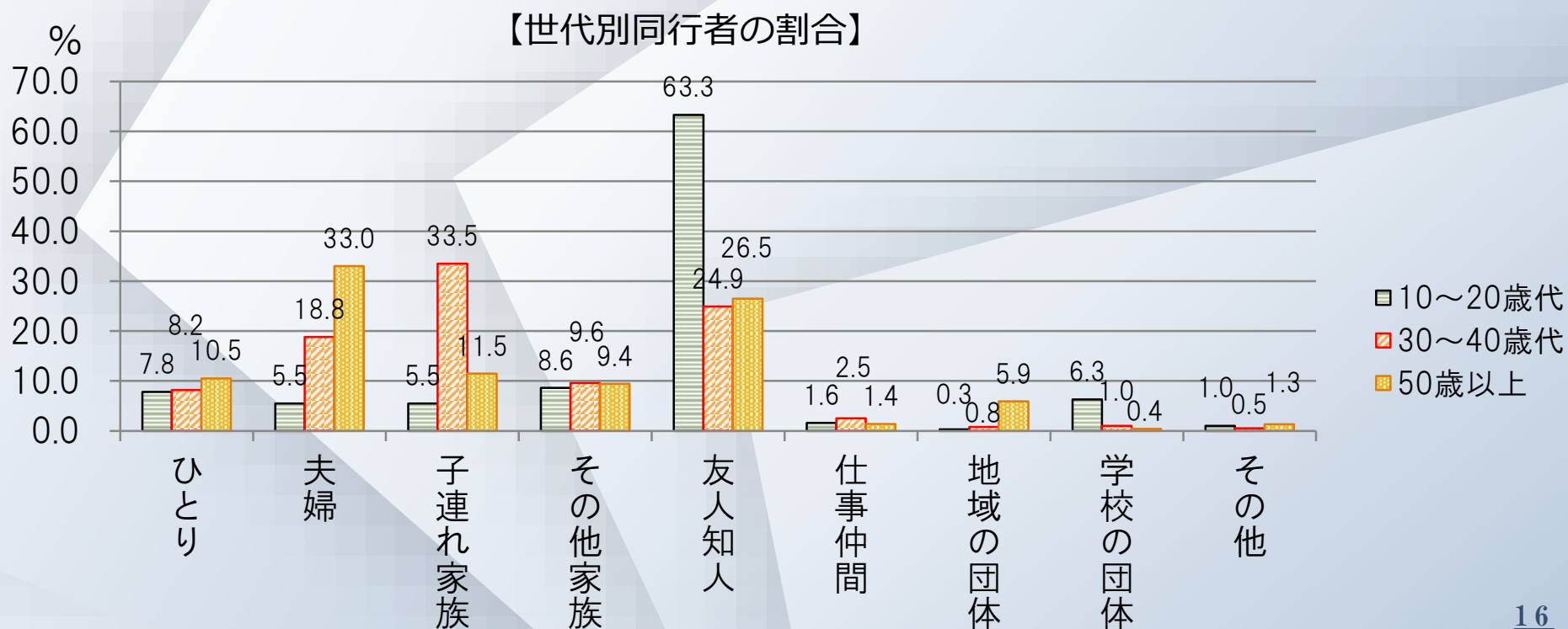
川越の町歩きも、一人旅の嗜好に適し、アクセスの良さによる気軽さもメリットとなって訪問客が増加していると思われる。





## ○世代別同行者の割合

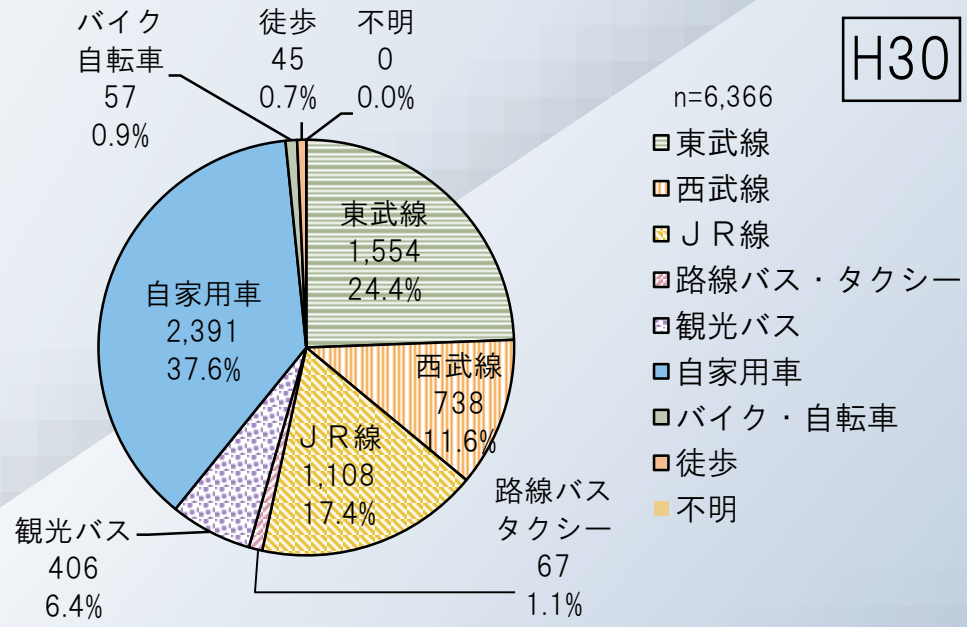
- ・ 10～20歳代は友人知人が圧倒的  
(62.4%→63.3%に上昇)
- ・ 30～40歳代は子連れ家族が最も多い  
(30.9%→33.5%)
- ・ 50歳代以上は夫婦が最も多い  
(33.8%→33.0%)



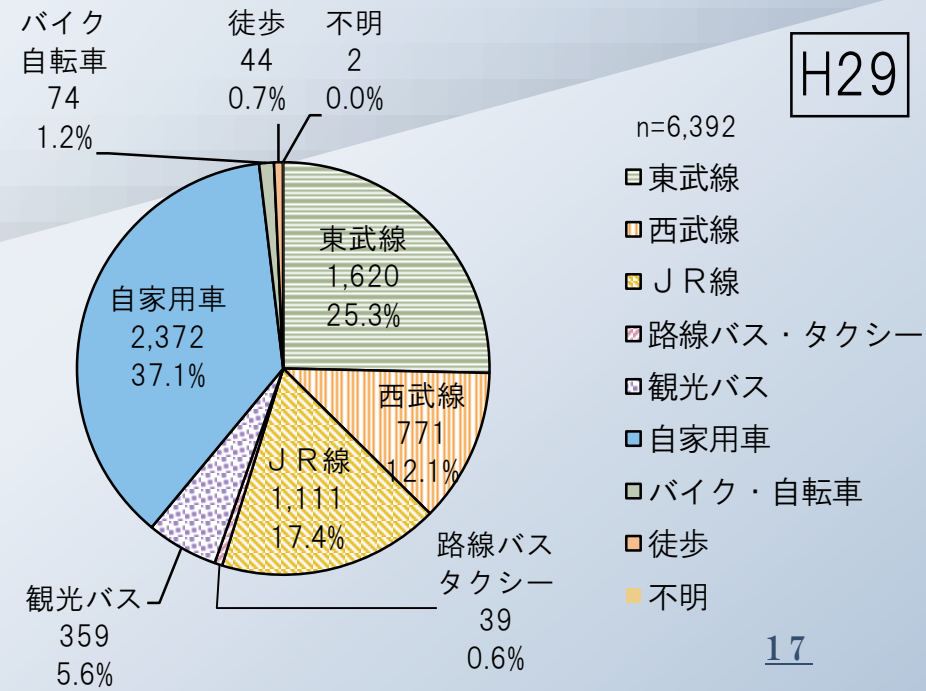
H30

### (5) 交通手段

- 鉄道3社の合計：**53.4%**  
(昨年：54.8%)
  - ・東武線 25.3%→24.4%
  - ・JR線 17.4%→17.4%
  - ・西武線 12.1%→11.6%
- ※過半数は公共交通機関を利用



- 観光バスが増加  
(5.6%→6.4%)
- 路線バス・タクシーが増加  
(0.6%→1.1%)



H29

## (6) 滞在期間

○日帰りの割合：**97.3%**  
(昨年：96.9%)

○宿泊者の割合：**2.7%**  
(昨年：3.1%)

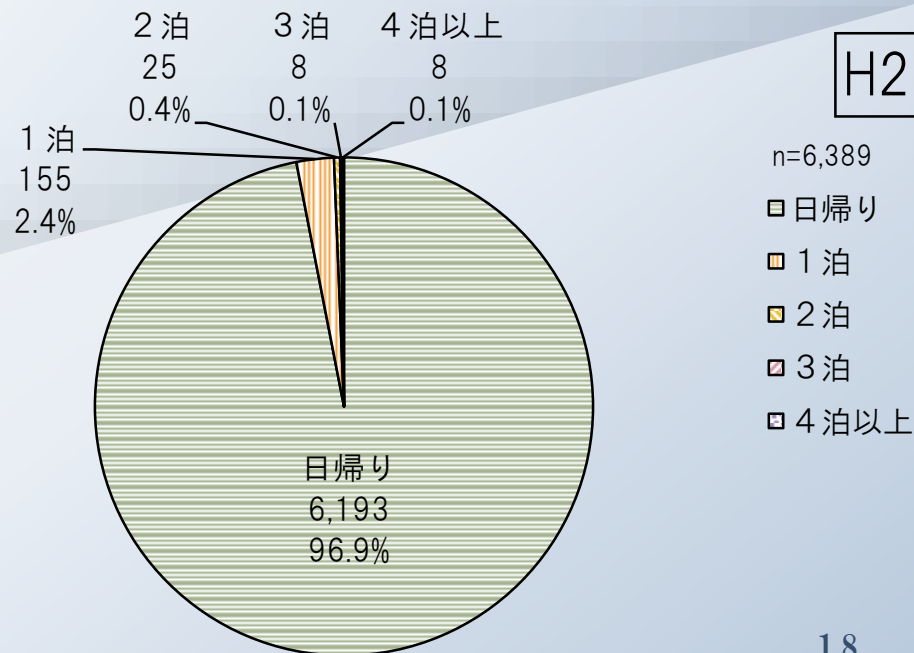
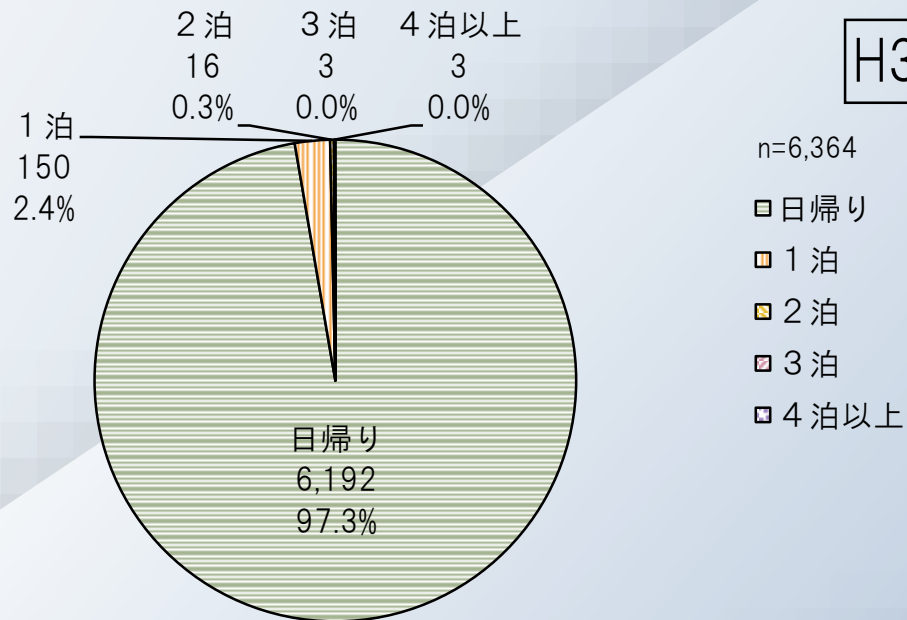
○わずかに宿泊者が減少し、  
日帰り客の割合が増加

※宿泊者を年間の入込観光客数で比較

・ H30 734万2千人×2.7%  
= 198,234人 (推定)

・ H29 662万8千人×3.0%  
= 198,840人 (推定)

⇒前年と大差なし



## (7) 宿泊観光客

### 【宿泊観光客の都道府県別出発地】

地方	件数	都道府県別（上位順に表記） ※カッコ内は人数
北海道	<b>7人</b> ( 4.3%)	北海道 (7)
東北	<b>27人</b> (16.6%)	福島県 (7)、宮城県 (6)、山形県 (5)、秋田県 (4)、青森県 (3)、岩手県 (2)
関東	<b>58人</b> (35.6%)	千葉県 (16)、東京都 (13)、神奈川県 (13)、茨城県 (5)、埼玉県 (4) 栃木県 (3)、群馬県 (2)、山梨県 (2)
北陸・信越	<b>21人</b> (12.9%)	新潟県 (9)、長野県 (6)、石川県 (3)、富山県 (2)、福井県 (1)
東海	<b>24人</b> (14.7%)	静岡県 (16)、愛知県 (5)、岐阜県 (2)、三重県 (1)
近畿	<b>14人</b> ( 8.6%)	兵庫県 (4)、京都府 (3)、大阪府 (3)、奈良県 (3)、滋賀県 (1) 和歌山県 (0)
中国	<b>4人</b> ( 2.5%)	鳥取県 (2)、岡山県 (1)、山口県 (1)、島根県 (0)、広島県 (0)
四国	<b>0人</b> ( 0.0%)	
九州・沖縄	<b>8人</b> ( 4.9%)	福岡県 (3)、長崎県 (2)、佐賀県 (1)、鹿児島県 (1)、沖縄県 (1) 熊本県 (0)、大分県 (0)、宮崎県 (0)

## (8) 観光時間

○ 1日・2日以上滞在する観光客が増加している。

【半日】

41.3%→42.3%

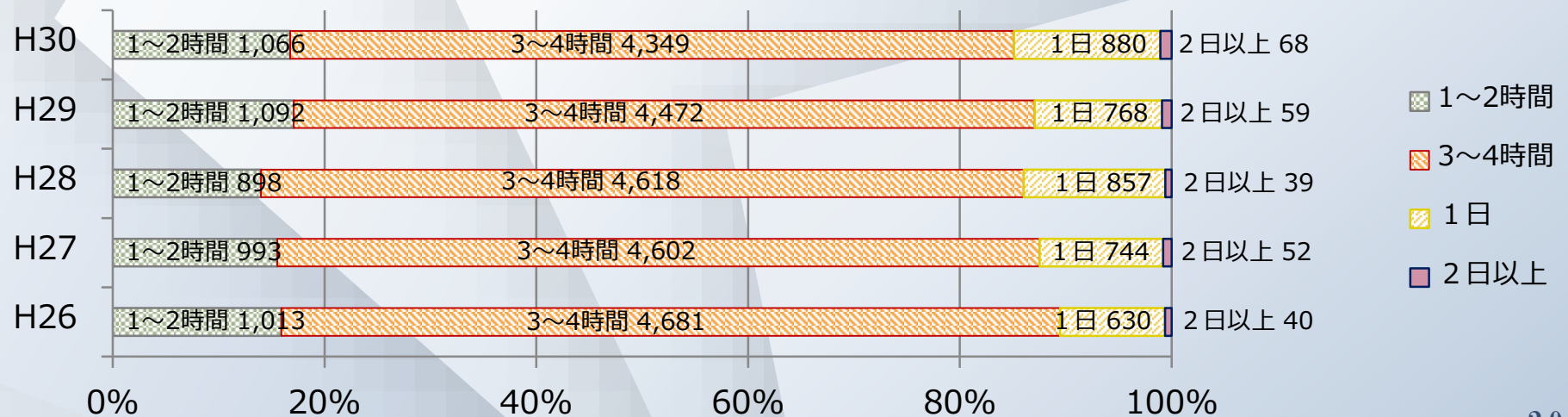
【1日】

12.0%→13.8%

【2日以上】

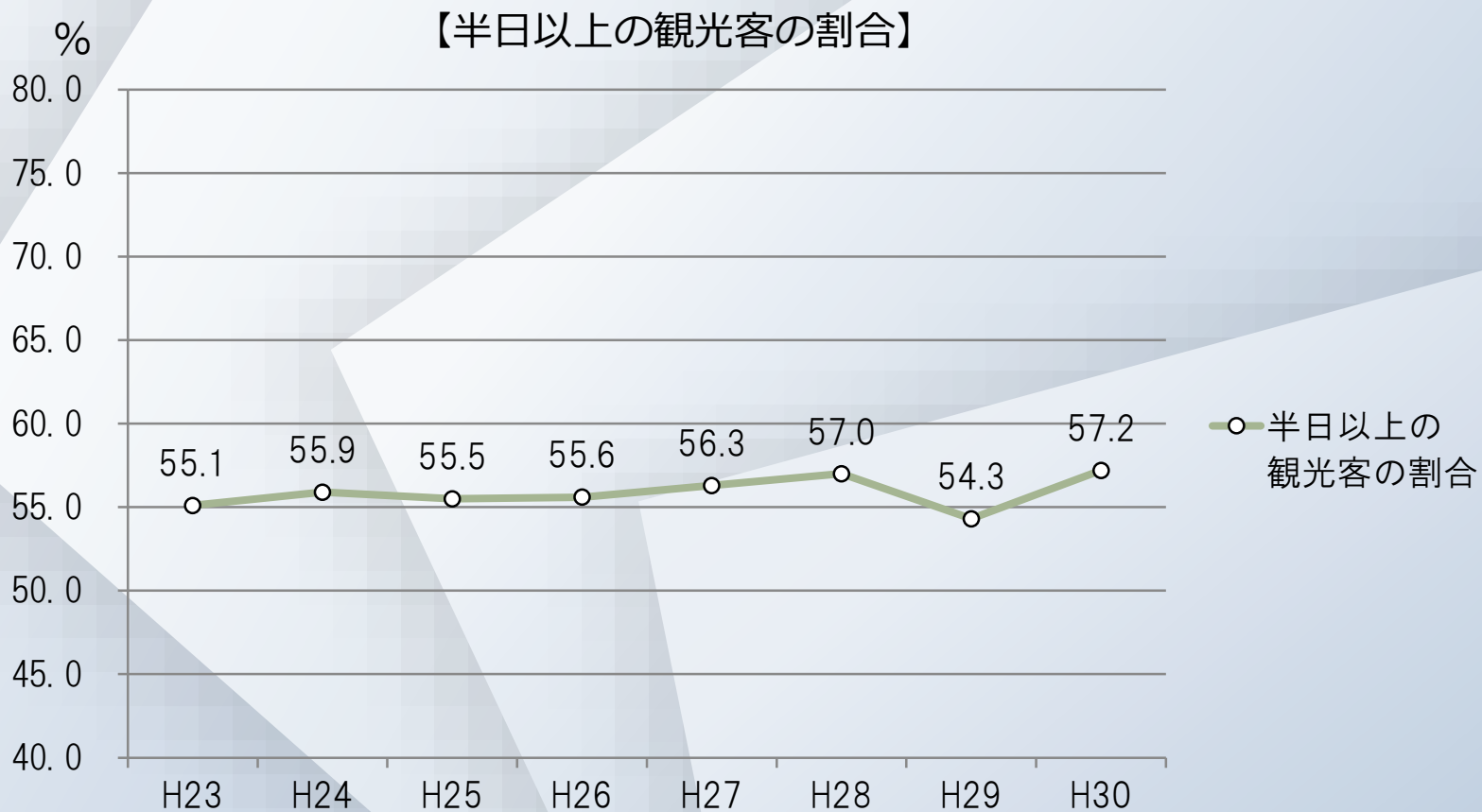
0.9%→1.1%

【観光時間データ】



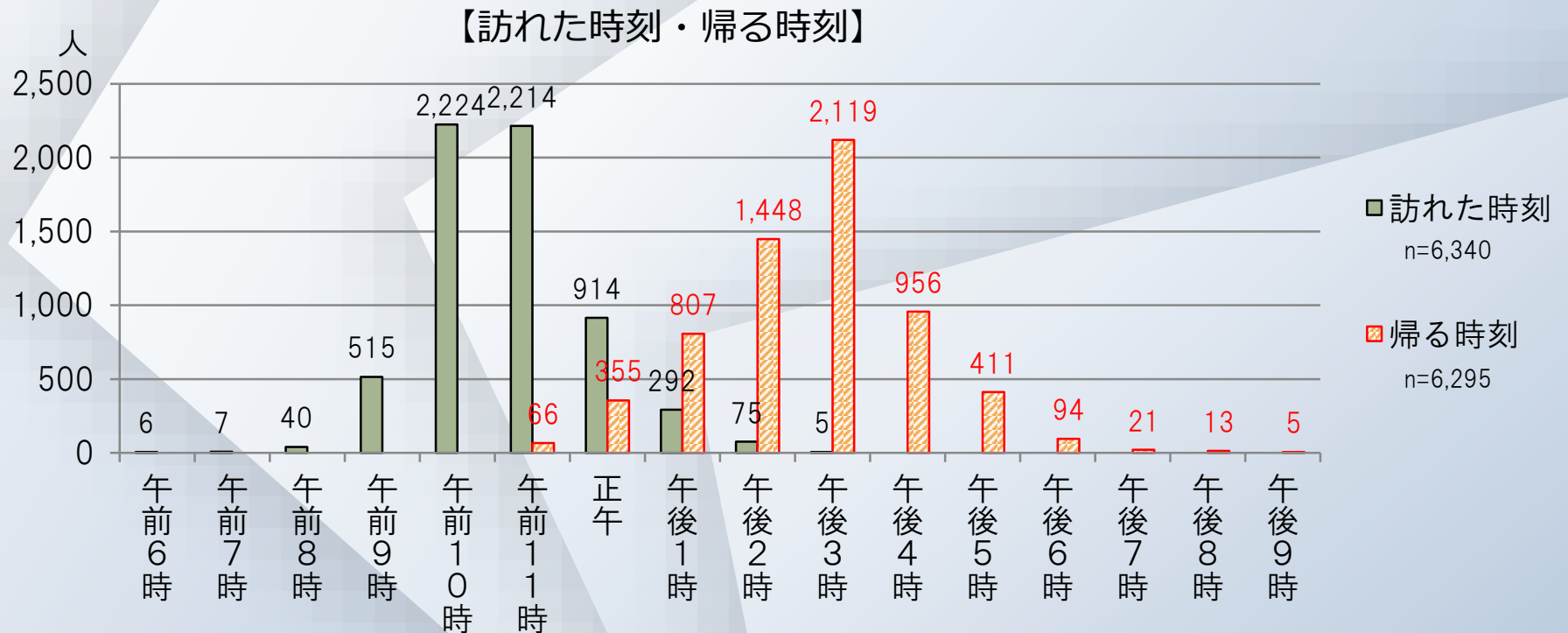
## ○観光時間半日以上の観光客の割合の推移

- ・ 54.3%→**57.2%**へ増加
- ・ 更なる観光時間の延長が課題



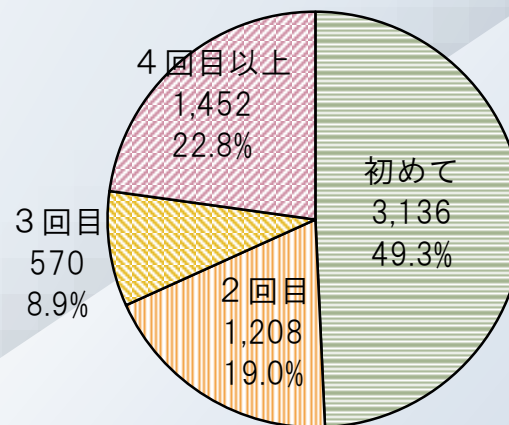
## (9) 訪れた時刻、帰る時刻

- 訪れた時刻は午前10時または午前11時からが**69.8%**  
(昨年：70.4%)
- 帰る時刻は午後3時までが最も多く**33.3%**
- 訪問時間の分散化（オフピーク）が課題



## (10) 来訪回数

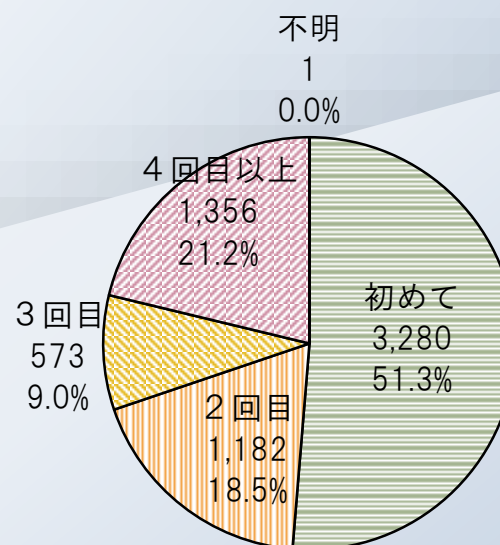
- 初めての観光客は減少  
51.3% → 49.3%
- リピーターの割合は増加  
48.7% → **50.7%**
- 初めての観光客も取り込みつつ、  
リピーターの更なる増加が課題



H30

n=6,366

- 初めて
- 2回目
- 3回目
- 4回目以上



H29

n=6,392

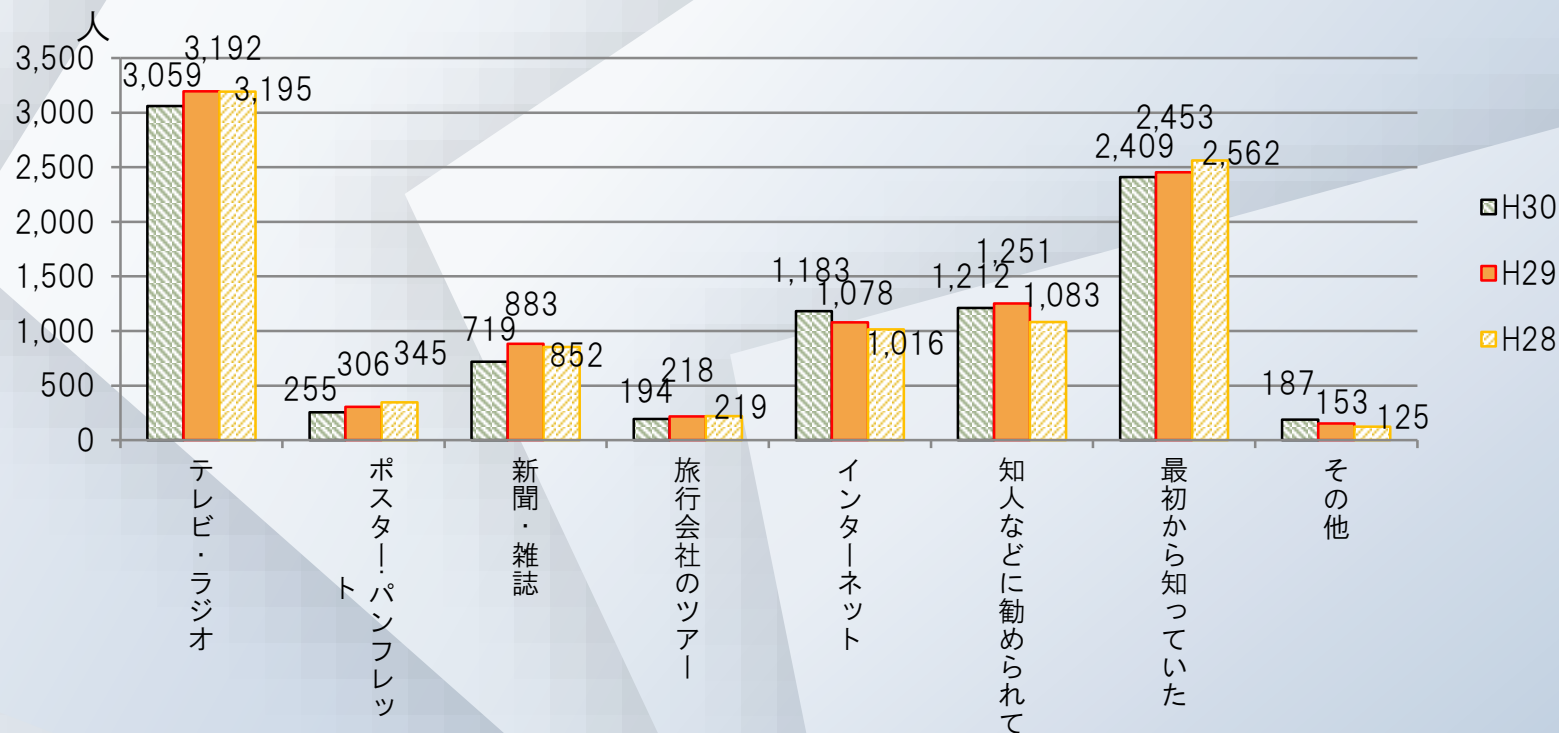
- 初めて
- 2回目
- 3回目
- 4回目以上
- 不明



## (11) 認知方法

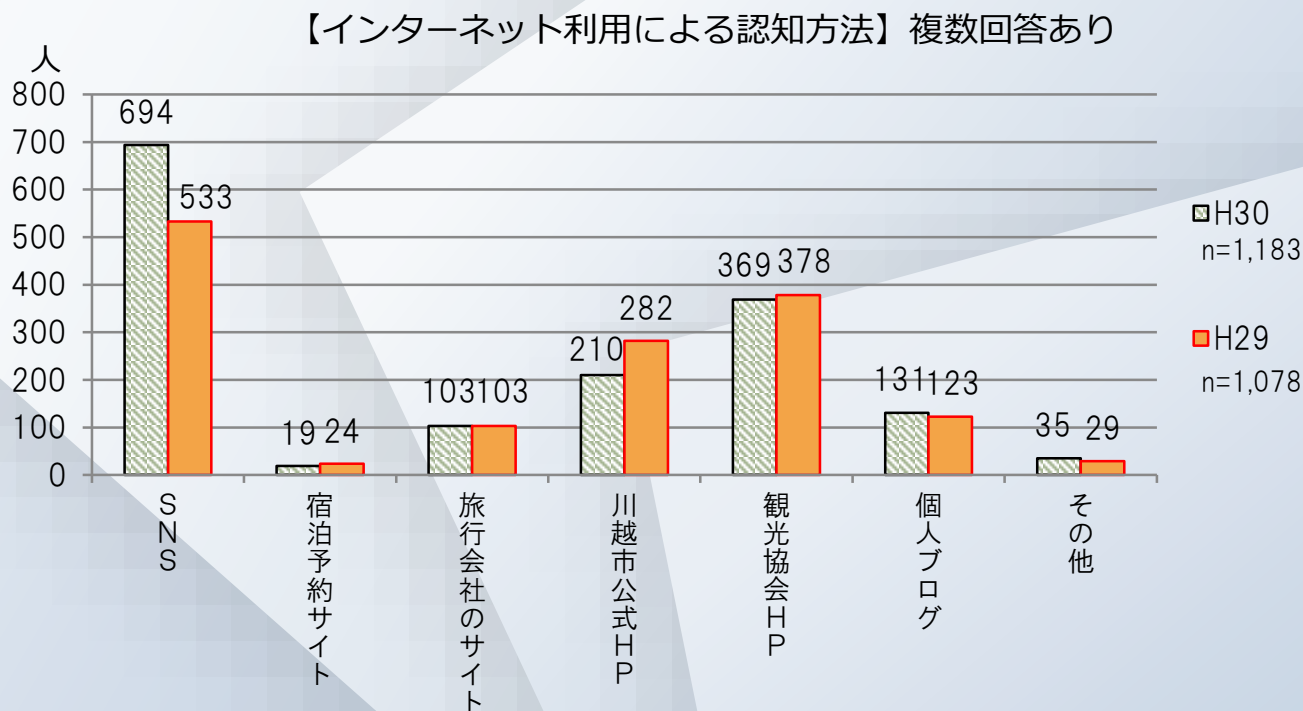
- テレビ・ラジオの割合が引き続き1位 33.5%→**33.2%**  
→旅番組や情報番組などへの露出効果は大きい
- インターネットの割合が年々増加  
**1,078人 (11.3%)** ⇨ **1,183人 (12.8%)**
- ウェブ・SNSでの周知・PRが今後の課題

【川越を知った方法】複数回答あり



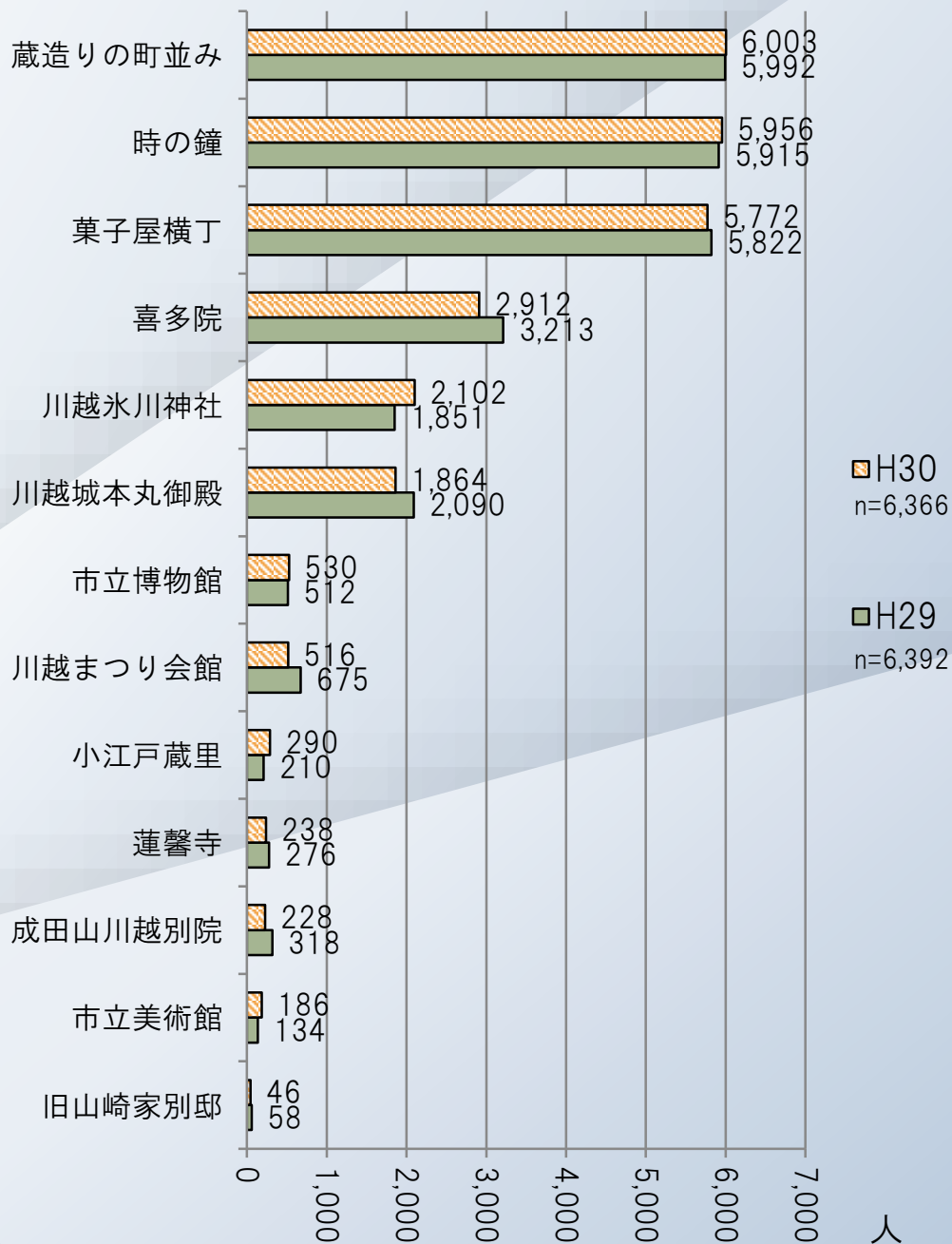
## 【インターネット利用による認知方法】

- SNSが引き続き1位 49.4%→**58.6%**
- 今後はSNSの分析調査及び発信力の強化が必須 (インスタグラム・フェイスブック・ツイッター等)
- 川越市公式HP・小江戸川越観光協会の公式HPは減少
  - ・川越市HP 26.1%→17.7%
  - ・観光協会 35.0%→31.1%

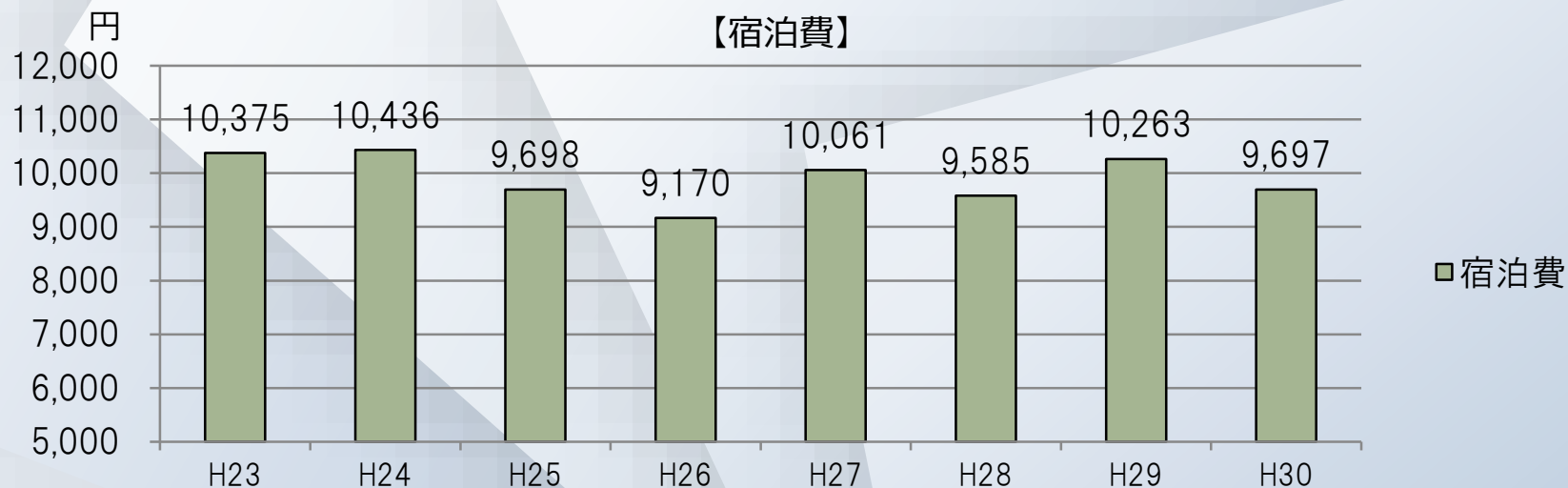
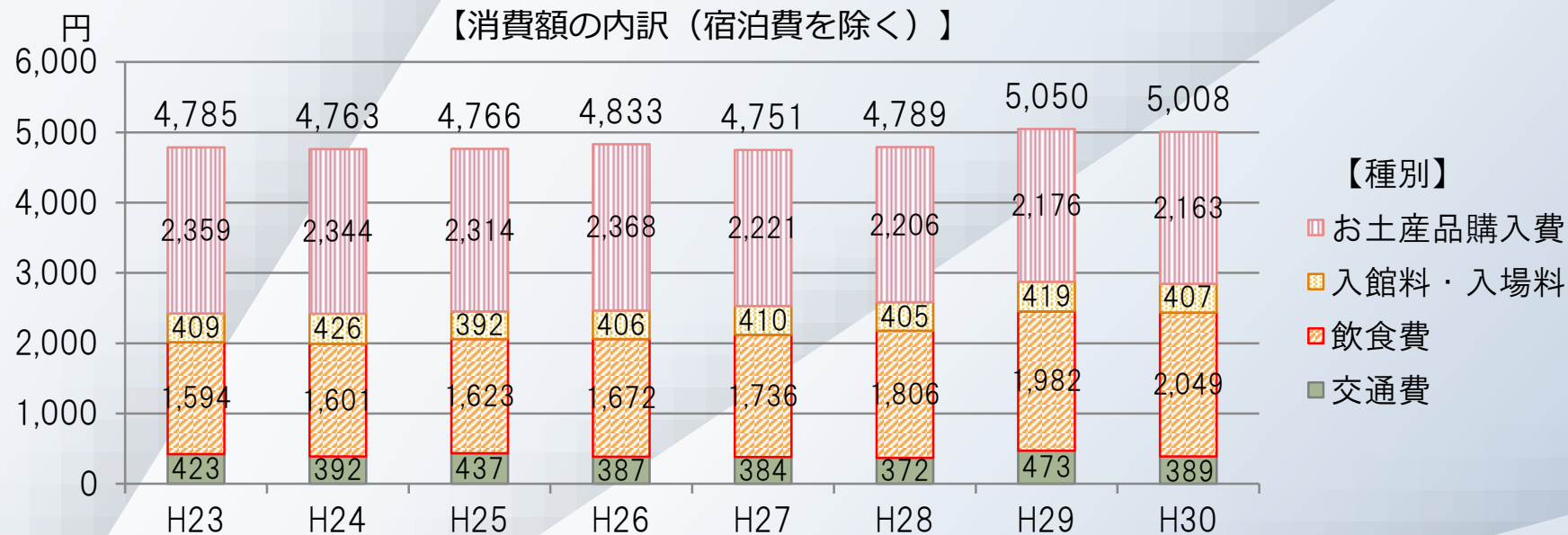


## (12) 立ち寄り観光地

- 蔵造りの町並み・時の鐘・菓子屋横丁が**90%**越え
- 喜多院は減少（50.1%→45.7%）
- 氷川神社が増加（28.9%→33.0%）  
縁むすび風鈴やSNSでのあい鯛みくじの  
情報拡散の効果と推定される
- 小江戸蔵里が増加  
（3.3%→4.6%）  
利き酒体験コーナーの改修により  
施設としての魅力が高まった効果と  
推定される



### (13) 平均観光消費額



## ■川越市内での交通費

- 一人あたり平均交通費 **389円**
- 「支出なし」が**80.9%** (昨年は74.5%)
- 「1,000円未満」が**18.4%**

## ■入館料・入場料

- 一人あたり平均入館料・入場料 **407円**
- 昨年の419円から12円**減少**
- 蔵造り資料館耐震工事による休館が一因と  
考えられる

## ■川越市内での宿泊費

- 一人あたり平均宿泊費 **9,697円**
- 昨年の10,263円から566円**減少**

## ■お土産品購入費

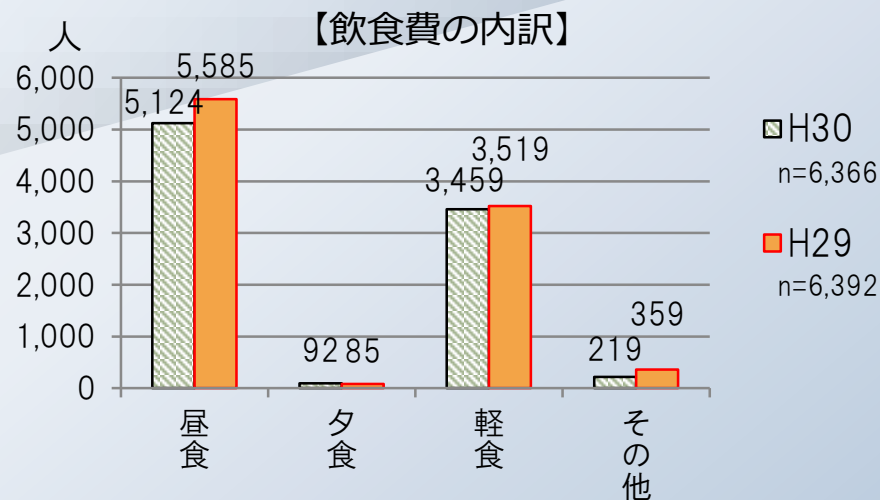
- 一人あたり平均お土産品購入費 **2,163円**
- 平成26年から**年々減少**している
- 世の中の的に観光客の旅行に求めるものが  
「モノ」より「コト」（体験）に移行してきてい  
る影響と推定される

## ■飲食費

- 一人あたり平均飲食費 **2,049円**
- 昨年の**1,982円**から**103%**上昇
- 年々上昇し続け、**2,000円台**を突破した

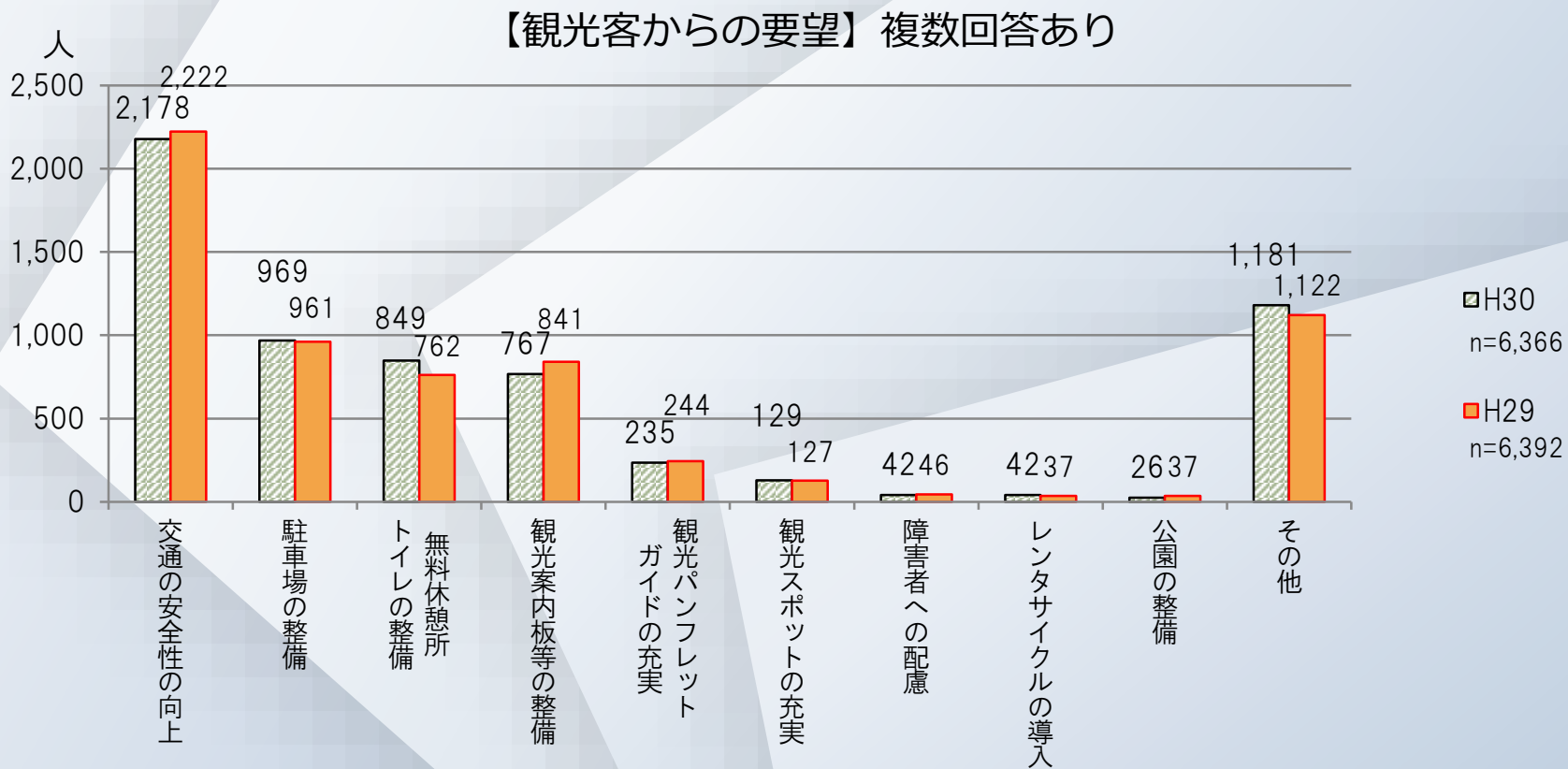
### 【飲食費の内訳】

- 最も多いのは「**昼食**」で**57.6%**
- 次いで「**軽食**」の**38.8%**
- 「**軽食**」は昨年の36.8%より**2%**上昇



## (14) 要望

- 最も多かったのは**交通の安全性の向上（34.2%）**
- 次いで「駐車場の整備」（15.2%）
- 3位は「無料休憩所・トイレの整備」（昨年4位 11.9%から上昇）



## (15) 意見・感想①（自由回答）

### 【交通】

- ・一番街の道路の車が怖い
- ・車椅子の友人を連れてきたが、車が危なかった
- ・時の鐘の通りは人が多いのに車が通り危ない
- ・土日は歩行者天国希望
- ・歩道が狭い
- ・交通渋滞の解消を
- ・外環が接続したので、思ったより近くに感じた

### 【観光情報】

- ・パンフレットが置いてある所がわからない
- ・川越にお城があることを今まで知らなかった。  
もっと本丸御殿をPRしたほうがいい
- ・ランチ20人くらいの広さの食事処がもっとあるといい
- ・駐車場に地図やパンフレットを置いてほしい
- ・地図を各地に整備して欲しい
- ・川越市駅に観光マップが置いてなかったのが残念
- ・喜多院にもガイドがいてわかりやすかった
- ・観光に力が入っているのがわかる

### 【ゴミ・環境】

- ・ゴミ箱の設置を希望
- ・暑いので日陰の休むところがほしい
- ・座って休めるようなベンチがほしい
- ・あまり開発をしないでほしい
- ・良い町で落ち着く
- ・一番街にミストを。暑さ対策をお願いします
- ・ポケットパークが良い。拡充に力を入れてほしい
- ・菓子屋横丁の近くに子供達が集まれるスペースがほしい
- ・無料の休憩所をもっと増やしてほしい
- ・もっとコインロッカーの設置を

## (15) 意見・感想②（自由回答）

### 【トイレ・駐車場】

- ・時の鐘の近くにトイレがない
- ・蔵里に駐車場を作してほしい
- ・無料駐車場を増やしてもらいたい
- ・トイレがどこにあるかわからない
- ・トイレの案内表示をわかりやすく

### 【バス】

- ・川越駅でバス乗り場がわかりづらかった
- ・菓子屋横丁へ行くバス乗り場がわからなくて仕方なくタクシーで来た
- ・平日観光用バスが少ない
- ・バスの本数を多く（氷川神社行き）

### 【その他】

- ・外国人が多い
- ・新河岸川で舟に乗りたい
- ・町がとても美しく感激しました。  
大切に保存して下さい
- ・電柱が地中化されていてとても美しい街と思った
- ・時の鐘の音が小さい
- ・氷川神社の風鈴は良かった
- ・旧山崎家別邸が良かった
- ・駅の案内所のスタッフが親切で助かった。  
嬉しかった
- ・ベビーカーを貸し出してほしい
- ・名物のうなぎを食べに来ました
- ・スマホの充電できる所を設けてほしい
- ・インスタ映えを意識したスポットがほしい
- ・日本そばと着物を体験、楽しいです
- ・泊まれるホテルが少ない
- ・元町無料休憩所は助かる
- ・昨年、小江戸川越七福神を回ったら良いことがあったので今年も回りました
- ・川越の町が好きで良く来るが、裏通りがとても良いと思う。「裏通り再発見」などの観光ルート（コース）の作成を検討してみたらどうか
- ・もっとゆっくりしたい。また来ます



### Ⅲ 観光消費額

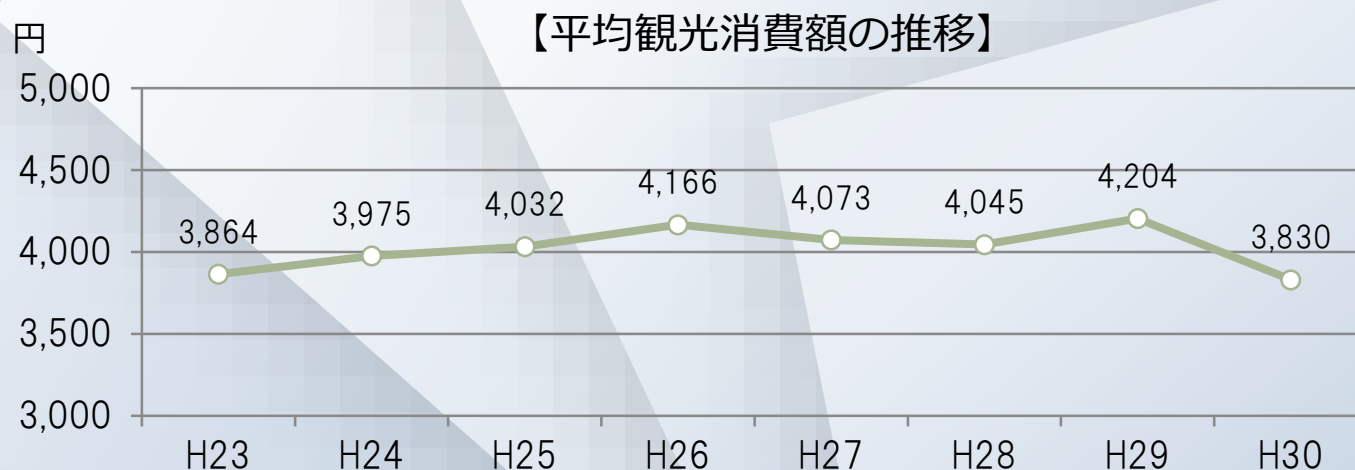
#### 【平成30年の消費項目別の観光客平均消費額】

項目	消費活動率	平均消費額	昨年の平均消費額 (前年比割合)	消費活動人数(人)	消費総額
交通費	23.8%	389円	473円 (82.2%)	700,292	272,375,759円
宿泊費	1.9%	9,697円	10,263円 (94.4%)	56,743	550,245,636円
飲食費	89.5%	2,049円	1,982円 (103.3%)	2,628,634	5,387,094,286円
入館料・入場料	38.9%	407円	419円 (97.1%)	1,141,781	464,139,473円
お土産品購入費	72.0%	2,163円	2,176円 (99.4%)	2,113,333	4,571,599,220円
合 計					11,245,454,374円

## 【滞在形態別の観光客平均消費額】

項目	人数（人）	平均消費額
宿泊観光客 （宿泊費支出あり）	115	17,104円
宿泊観光客 （宿泊費支出なし）	57	4,716円
日帰り観光客	6,192	3,576円
<b>全体</b>	6,364	<b>3,830円</b>

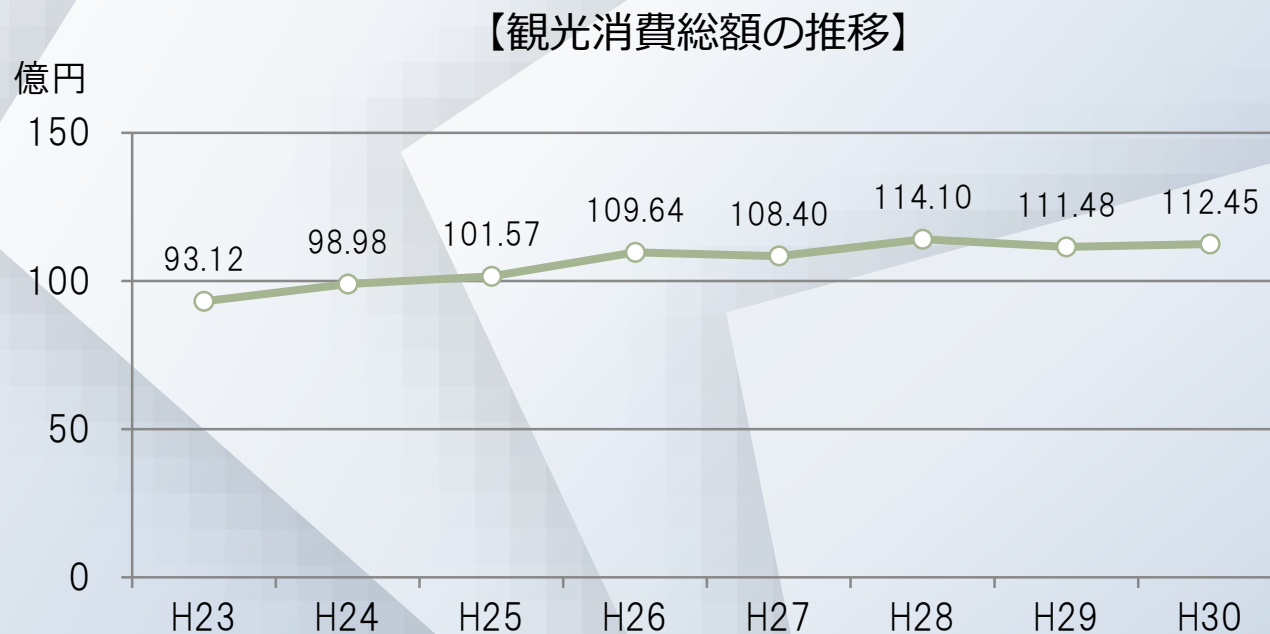
■ 飲食費を除き、交通費、宿泊費、入館料・入場料、お土産品購入費のいずれもが昨年を下回ったため、平均消費額が大幅に下がった



## 【経済効果試算の推移】

○平成30年の観光消費総額は  
**112.45億円（過去最高）**  
前年比0.8%増加（111.48億円）

○入込観光客数が増加したため、平均消費額が下がったにもかかわらず  
過去最高の消費総額となった



川越市観光アンケート調査報告書 平成30年

令和元年5月

編集・発行 川越市産業観光部観光課

〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1

TEL 049-224-5940 (直通)

FAX 049-224-8712